きずな通心

令和８年１１月
第１９４号

～きずなの会～

いすみ市 津波避難タワー 見学・研修会を行いました



令和6年、いすみ市岬町江場土地区に、約100人を収容できる津波避難タワーが整備されました。いすみ市では、元禄地震などと同規模の地震を想定した場合、最大9.9メートルの津波が押し寄せると想定されています。タワー周辺には約80人が暮らしていますが、徒歩20分以内に避難できる高台や高い建物がないことから、地域住民の緊急避難場所として整備されたものです。

きずなの会部会では、令和5年度から防災講演会や「マイハザードマップ」作りに取り組み、海抜の低い地域からの津波避難を課題として捉えてきました。今回、いすみ市の津波避難タワーを見学し、その必要性や地域の津波避難について考える研修を行うこととなりました。当日は２０名が参加し、移動のバスの車中では青木嘉男先生と佐藤宏明部会員による防災講話が行われました。またいすみ市役所では、危機管理課の担当者から津波避難タワーの概要、整備や地域の避難についての説明を受け、その後、実際に津波避難タワーを見学しました。

今回の研修を通じ、地域によっては高台への避難が難しく、津波避難タワーが命を守るための重要な選択肢となることを実感しました。この学びを今後の防災活動に生かし、千倉地域における津波避難のあり方について、地域の皆さんとともに考えていきたいと思います。



いすみ市役所での事前研修

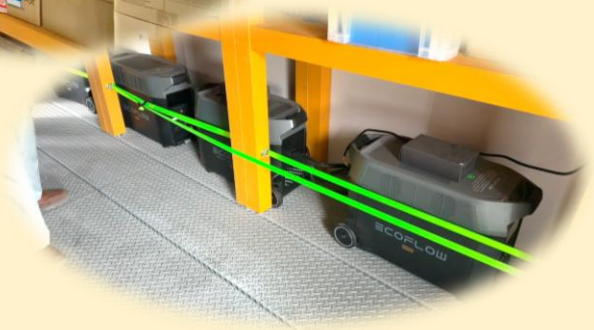


↑津波避難タワー



津波避難タワー2階





津波避難タワー内の備蓄品・発電機
このほかにもトイレや着替えブースなども完備



津波避難タワー屋上

～豊山海部会～

関東最南端の鉄道駅PR動画が完成しました♪

豊山海部会では、今年度の活動のひとつとして、JR千倉駅を「関東最南端の鉄道駅」としてもっと多くの方に知っていただき、駅や鉄道の利用につなげていく取り組みを進めています。昨年度は、JR千倉駅に「関東最南端の鉄道駅」の看板を2か所設置しました。そして今年度は、安房國テレビにお願いし、関東最南端の鉄道駅のJR千倉駅から関東最南端の白浜・野島埼灯台までの「先っちょから先っちょまで」を自転車でめぐる、という動画を制作していただきました。千倉駅を起点に、南房総の魅力ある風景や地域の見どころを自転車でつなぎながら、「関東最南端の鉄道駅」という千倉ならではの魅力を発信し、鉄道を利用して地域を訪れるきっかけづくりにつなげていきたいと思います。





動画ＱＲコード↓

～高家学ぼう会～

高家神社 秋の例祭 庖丁式奉納

式題「蓬莱乃鯛」

日本で唯一、料理の神様をお祀りする高家神社で、秋の例祭と庖丁式が行われました。庖丁式では、四條眞流一門が集い、刀主の渡邉憲仁氏が式題「蓬莱乃鯛(ほうらいのたい)」を披露。まな板の食材に直接手を触れず、包丁とまな箸を使って調理していく伝統の所作に、参拝者も見入っていました。境内には和菓子や軽飲食の出店も並び、多くの人でにぎわいました。秋の例祭を終え、次は11月23日に新穀感謝祭と庖丁式が予定されています。秋の深まりとともに、食への感謝を感じるひとときを過ごしに、ぜひ高家神社へお越しください。



11月のちくら漁港朝市

11月22日です

※天候・その他の事情により中止となる場合もございます。
※最新情報はInstagramまたはきずなFacebookでご確認下さい。

千倉地域づくり協議会「きずな」では、一緒に地域を盛り上げてくださる会員を募集中です。まずはお気軽に事務局へご連絡ください♪

きずな通心はFacebook、みんみんネットでもご覧いただけます。
きずな通心１９４号　2026年１１月１２日発行　発行部数4,400部
発行：千倉地域づくり協議会『きずな』 編集：千倉担当地域づくり支援員
〒295-8601　南房総市千倉町瀬戸2296-6
☏ 0470-44-1113（平日9：00～17：00）　fax 0470-40-1013
E-mail chikurakizuna@yahoo.co.jp
©千倉地域づくり協議会『きずな』

Facebook page　メール